

みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI 要因と今後の方向

基本目標1 子育て世帯をターゲットとした教育環境の充実（教育環境）			
学校生活に満足している児童・生徒の割合(①小学生)		※「学校評価ガイドライン」(文部科学省)に従って各学校が行った学校評価の結果を集計して取りまとめています。	
H28状況	要因	今後の方向	具体的な取組
前年度から1.8%減少しており、めざそう値(H31)に比べて1.6%低い状況です。	授業のわかりやすさや保護者との連携の面での満足度は高いものの、進路や読書習慣の面で満足度が低い状況にあり、全体としては満足度がやや下がっています。	将来の進路を広げるための支援を行うとともに、現在策定中の子どもの読書活動推進計画に基づき、読書習慣の改善を図っていきます。	ジュニアアカデミー事業(No. 104)、学校図書司書補助員配置事業(No. 12) ほか
学校生活に満足している児童・生徒の割合(②中学生)		※ 同上	
H28状況	要因	今後の方向	具体的な取組
前年度から1.0%減少しており、めざそう値(H31)に比べて4.5%低い状況です。	小学生と同様、授業のわかりやすさや保護者との連携の面での満足度は高いものの、進路の満足度が低く、家庭学習の充実が低調であり、全体としては満足度がやや下がっています。	将来の進路を広げるための支援を行うとともに、生徒の家庭学習の習慣化を助けるため、長期休業期間中に大学生ボランティア等による学習支援を行います。	ジュニアアカデミー事業(No. 104)、子どもの学び支援事業(No. 38)、キャリアドリーム事業(No. 26) ほか
年少人口(0～14歳)			
H28状況	要因	今後の方向	具体的な取組
前年度から222人減少しており、めざそう値(H31)に比べて11人少ない状況です。	毎年の出生数が年々減少していることに伴い、年少人口自体も年々減少しています。	食育やきめ細かな教育の充実など、特色ある教育を実践していくことで、市内で教育を受けさせたいと思う人を増やし、年少人口の減少抑制を図っていきます。	学校給食費無料化(No. 19)、旧福岡西小学校利活用事業(No. 17) ほか

みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI 要因と今後の方向

基本目標2 若い世代の結婚・出産・子育て等の希望の実現（結婚・子育て）

合計特殊出生率

H28状況	要因	今後の方向	具体的な取組
前年度から0.11減少しており、めざそう値(H31)に比べて0.15低い状況です。	平成28年度は全国・群馬県とも合計特殊出生率がやや低下する中、本市も出生数が減少した影響を受けて低下しています。	現在の子育て世代だけでなく、若い世代からも意見を聞いて施策に取り入れることで、子どもを生き育てやすい環境を整えていきます。	若者進路追跡調査(No. 72)ほか

子育てしやすいまち（環境）だと思える保護者の割合

H28状況	要因	今後の方向	具体的な取組
前年度から0.8%増加しておりますが、めざそう値(H31)に比べて9.2%低い状況です。	子育て応援アプリ「みどりん」や市内の公園情報をまとめた「おでかけマップ」の作成等、子育て支援施策を強化したため、数字が向上しています。	引き続き様々な媒体を使って子育て支援情報を発信し、各種取組に関する情報が市民の方々に行き届くよう努めていきます。	子育て応援アプリ情報提供事業(No. 28)ほか

出生数

H28状況	要因	今後の方向	具体的な取組
前年度から31人減少しており、めざそう値(H31)に比べて44人低い状況です。	年による多少のバラつきはあるものの、全体的には年々減少傾向にあり、前年度よりも減少しています。	「子どもを持ちたい」という人が安心して子どもを産める環境を整備するため、経済的支援を含め、子育てを総合的に支援していきます。	子育て応援サポーター事業(No. 35)、不妊治療費助成事業(No. 53)ほか

学童保育所に入所している児童数

H28状況	要因	今後の方向	具体的な取組
前年度から44人増加しており、めざそう値(H31)を95人超過しています。	開所時間の延長を通じて利用者の利便性を高めていく中、入所児童数が右肩上がりに増えています。	土日や長期休業期間中も開所時間を延長することで、更に利用しやすい学童保育所を整備していきます。	学童保育事業(No. 47)ほか

みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI 要因と今後の方向

基本目標3 みどり市の特性を活かした地域雇用の拡大（はたらく場）			
地域産業担い手育成支援事業補助金活用による新規就労者数			
H28状況	要因	今後の方向	具体的な取組
前年度から3人減少しており、めざそう値(H31)に比べて13人少ない状況です。	企業訪問等で引き続きPRは行ってきたものの、新たに利用する事業者が少なく、増加にはつながりませんでした。	事業自体の見直しも視野に入れ、雇用奨励金に限定せず、企業と学生のマッチング等を通じ、様々な形で地域雇用創出を図っていきます。	創業支援事業(No. 81) ほか
起業家チャレンジ資金活用による延べ開業者数			
H28状況	要因	今後の方向	具体的な取組
前年度から横ばいで、めざそう値(H31)に比べて6人少ない状況です。	国による創業補助金や民間・政府系金融機関による創業者向け融資が充実しており、市の制度以外の選択肢が充実してきています。	制度の充実や見直しの検討を行うとともに、制度融資以外の個別相談や創業塾の開催を通じて創業者をサポートしていきます。	起業家チャレンジ資金貸付事業(No. 85)、創業支援事業(No. 81) ほか
新規林業従事者数			
H28状況	要因	今後の方向	具体的な取組
前年度から横ばいで、めざそう値(H31)に比べて1人少ない状況です。	平成27年度に地域材加工センターが設置されたことで、木材の安定的供給先が確保され、新規雇用が継続しています。	国・県・市・組合による森林整備協定に基づき、林業専用道の整備等を通じて木材の供給環境を整えることで、木材の需要を高め、雇用創出を図っていきます。	森林整備担い手対策補助事業(No. 84) ほか
新規就農者数			
H28状況	要因	今後の方向	具体的な取組
前年度から5人減少しておりますが、めざそう値(H31)を1人超過しています。	大きく増加した平成27年度と比較すると減少はしているものの、担い手の世代交代により新規就農者は増加しています。	担い手の高齢化がどんどん進む中、農業に従事したいと思う人の希望を叶えるため、経営が安定するまでのサポートを行います。	新規就農者確保事業(No. 83) ほか

みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI 要因と今後の方向

基本目標4 安心して住み続けられる環境づくりと移住促進（移住促進）			
転入者数			
H28状況	要因	今後の方向	具体的な取組
前年度から49人減少しておりますが、めざそう値(H31)を65人超過しています。	交通の便が良く、借家も増えており、住環境が充実していることが要因と考えられます。	東京などの大都市からのひとの流れが生まれるよう、移住促進に向け、子育て世帯を中心に住環境が充実していることをPRしていきます。	移住促進事業(No. 91) ほか
空き家バンク登録数			
H28状況	要因	今後の方向	具体的な取組
前年度から2件増加しておりますが、めざそう値(H31)に比べて6件少ない状況です。	継続的なPRで制度自体が浸透してきたことや、移住への機運が高まっていることにより、登録数が増加しています。	今年度進めている空き家実態調査により、市内の空き家件数を把握した上で、遊休資産の有効活用等を促進していきます。	空き家バンク(No. 92)、商店街活性化支援事業(No. 75) ほか
新規住宅建築件数			
H28状況	要因	今後の方向	具体的な取組
前年度に比べ56件減少しており、めざそう値(H31)に比べて46件少ない状況です。	平成27年度の件数は平成26年中に竣工した住宅件数となるため、消費増税を見据えた駆け込み需要が多かったことから増加しました。平成28年度はそうした影響が終わったため、大きく減少しています。なお、この傾向は全国的にも同様です。	家を建てたいと思う人が希望を叶えられるよう、魅力あるまちを目指して、都市整備と適正な土地利用に向けた施策を推進していきます。	阿左美駅整備事業、各種道路整備事業（※総合戦略には非掲載）ほか

みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI 要因と今後の方向

基本目標5 地域特性に応じた魅力発信と定住促進（観光）			
入込観光客数			
H28状況	要因	今後の方向	具体的な取組
前年度に比べ16万人増加しておりますが、めざそう値(H31)に比べて41万人少ない状況です。	夏場の天候不順で夏祭りの来場者は大きく減少したものの、昨年度はみどり市市制施行10周年を記念して年間を通じて様々な事業を実施したことで、大きく増加しています。	平成28年度に制作した観光プロモーションビデオを様々な媒体で発信して市の露出を増やすとともに、市観光大使と一層連携して魅力を発信し、誘客につなげていきます。	観光PR事業(No. 95)、東町地域づくり促進事業(No. 101) ほか
みどり市観光ガイドの会利用者数			
H28状況	要因	今後の方向	具体的な取組
前年度から103人減少しておりますが、めざそう値(H31)を1,603人超過しています。	平成27年度から東京都内の旅行会社と連携した受入れを開始したことにより、大幅に利用者数が増加しています。	希少なカッコソウなど、みどり市独自の地域資源を題材にしたガイドを行い、商工業者と連携して今後も利用者増加を図っていきます。	みどり市観光ガイドの会補助事業(No. 97)
わたらせ渓谷鐵道利用者数（参考指標）			
H28状況	要因	今後の方向	具体的な取組
前年度から27,305人減少しており、めざそう値(H31)に比べて17,960人少ない状況です。	夏場や紅葉シーズンの天候不順により、ハイシーズンの利用が大きく落ち込みました。また、通勤用途の利用が低調でした。	近隣市との連携をより強化し、周遊型観光を確立することで、新たなファンの獲得を図っていきます。	鐵道支援事業（※総合戦略には非掲載）ほか